

チェーンソーで危険なこと

キックバックして

チェーンソーの刃が顔にあたる

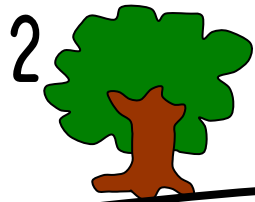
チェーンソーの刃が足にあたる

不注意・力の入れすぎ・不適切な足の位置

チェーンソーの刃で左足の膝・太もも切る

チェーンソーの刃で左足のつま先・甲を切る

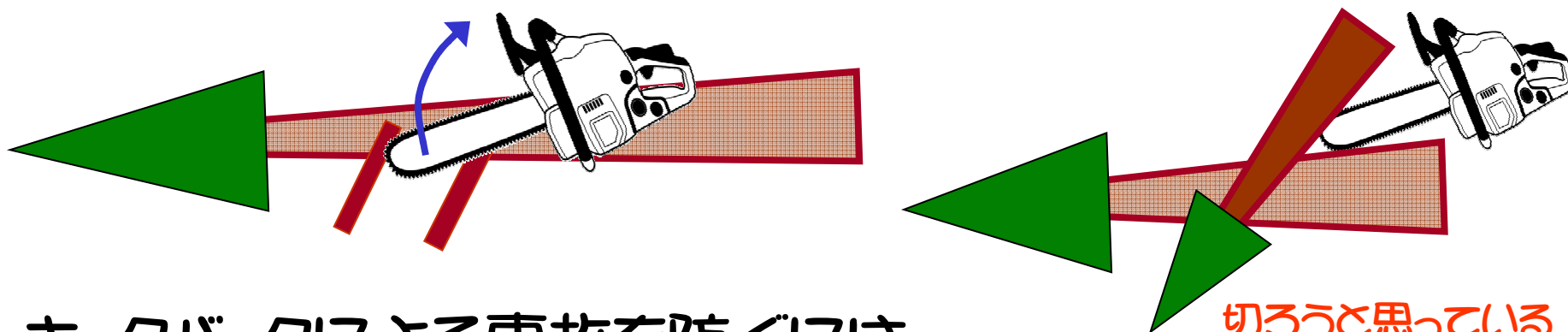
木くずが飛んできて目に入る



キックバック

ガイドバー先端上部が固い物に触れると跳ね上がる

※枝払いや重なった木の玉切の時に起こりやすい



キックバックによる事故を防ぐには

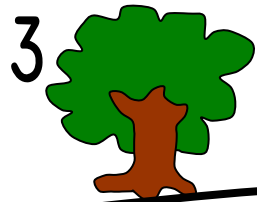
バーの先端の位置を常に意識する

左手の親指をハンドルの下に回して握る

キックバックした時にバーが来る位置に体を置かない

チェンブレーキ機能のついたチェーンソーを使う

切ろうと思っている
もの以外にバーの先
端があたってしまう



安全のための装備

ゴーグル



ヘルメット



イヤーマフ



耳栓

防振手袋



顔面マスク

防護ズボン



チャプス



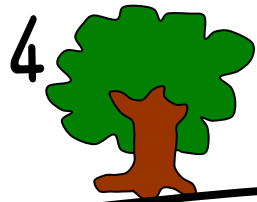
鉄・樹脂製先芯



安全靴

切断防止ブーツ





伐倒前の準備

(1) 伐倒方向を決める

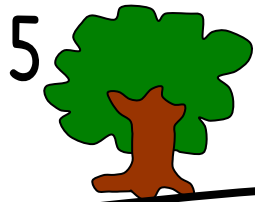
- ① 伐倒木の傾き、曲がり具合、枝の張り具合等状態を確認
- ② 隣接木との枝がらみ、つるがらみ、風の状態を確認
- ③ 倒れる方向の地形や障害物を確認

※ 難しい木は無理に伐らない(偏心木、枯損木、つるがらみ)

(2) 足場、退避場所等の安全を確保する

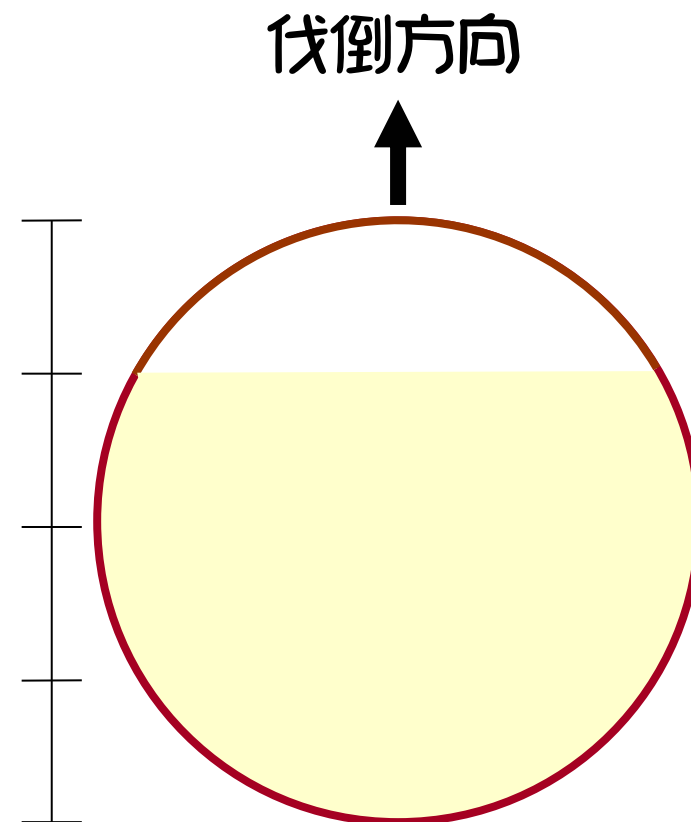
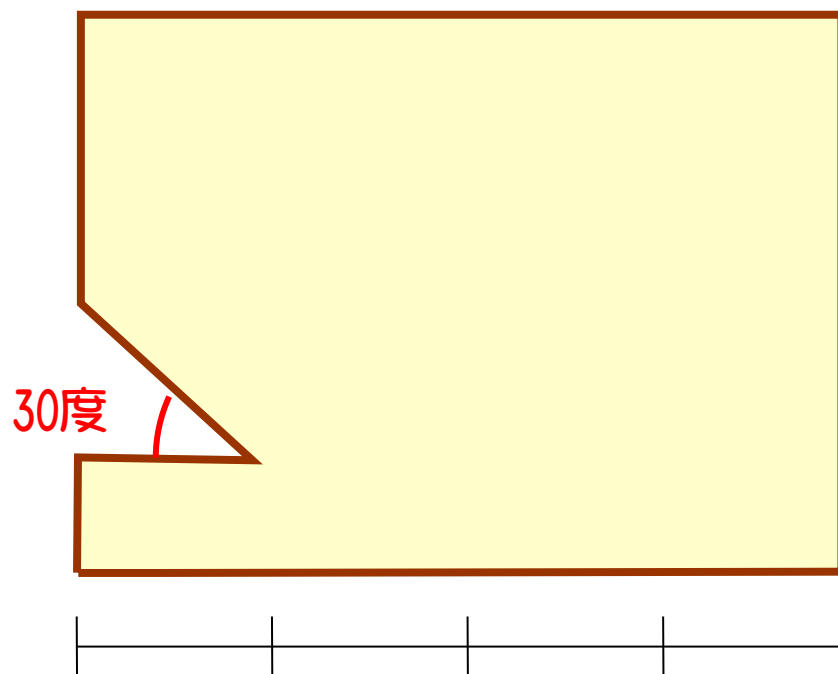
- ① 作業の支障となる周囲のかん木、笹、浮石などを取り除く
- ② 落ちてくるおそれのある枯れ木・枯れ枝は取り除く
- ③ 伐倒方向反対の斜面上方の安全な場所を待避場所に決める
- ④ 待避経路の障害物を取り除く

(3) 伐倒木の樹高の1.5倍の範囲に人がいないことを確認する



伐倒(受け口)

受け口の角度は30～45度、深さは伐根直径の1/4

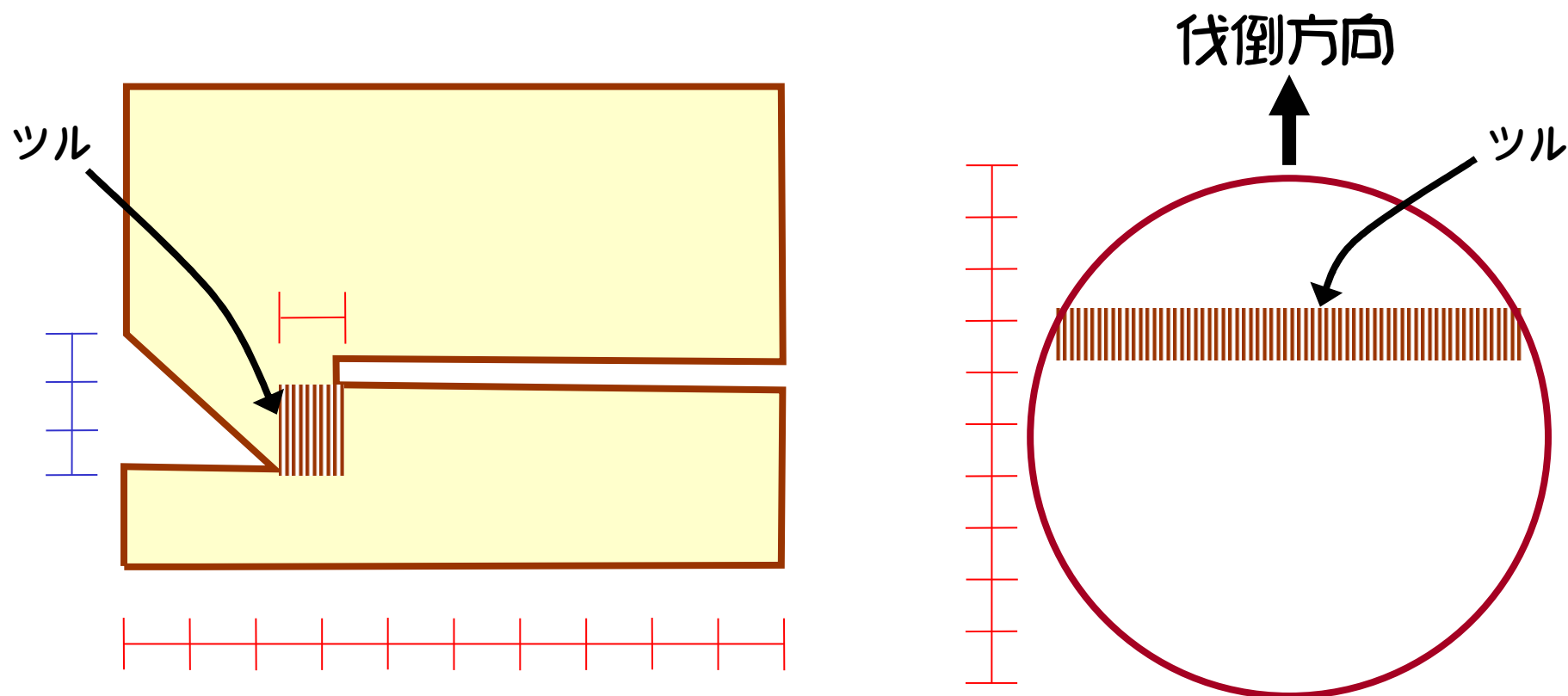


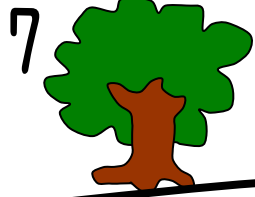


伐倒(追い口)

高さは受け口の $2/3$ 、ツルの幅は直径の $1/10$

※ツルとは受け口と追い口の間の切り残しの部分



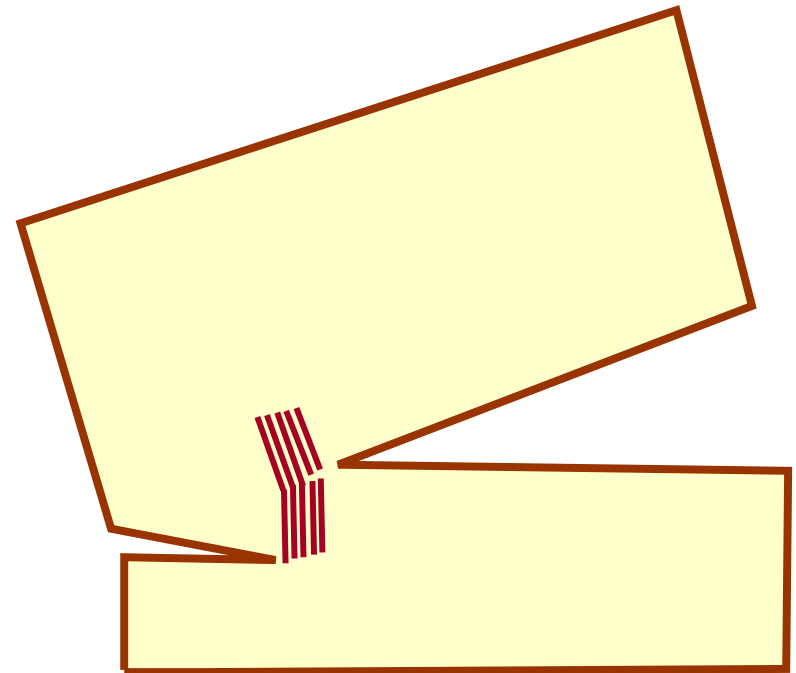


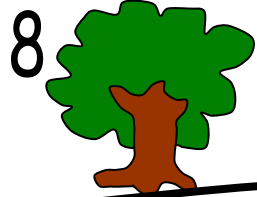
ツルの働き

■ツルは狙った方向に倒すために必要なもので、木が倒れるときツルが「蝶つがい」のような役目を果たす

■慣れないと追い口を切り過ぎてツルがなくなるまで切っ
てしまうことが多い

■ツルの高さが「低い」または
幅が「薄い」場合は、ツルの働
きは弱くなり、木は速く倒れる





偏心木の伐倒

■傾いた木を重心方向に倒すときは、受け口を深めにし、ツルの高さを高めにする。通常的位置だと、追い口を切り終わらないうちに木が倒れ始めてしまう。

■著しく傾いた木は追い口を切り込んでいる途中に幹が避けては跳ね上がる時がある。

(特にスギ・クリ・カエデ・ホオノキ)



9



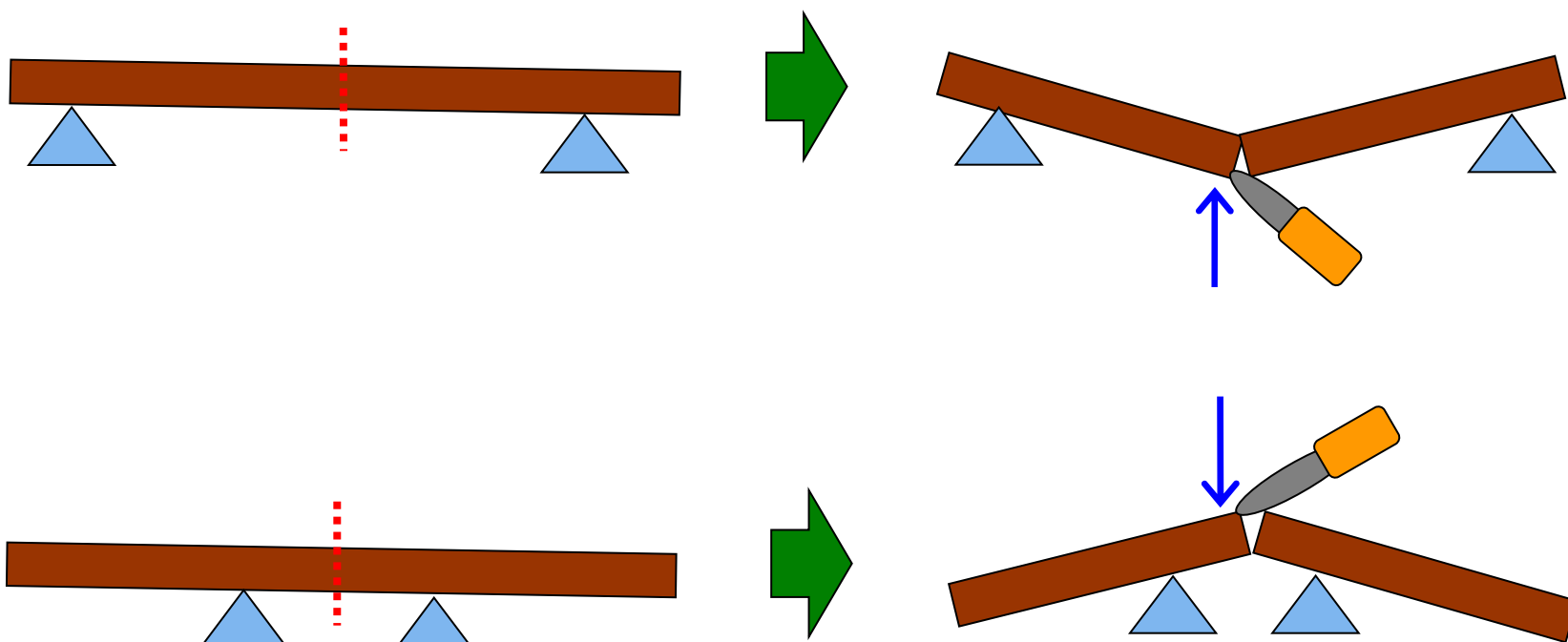
玉切のコツ

バーが挟まれないように切る(丸太の動きを読む)

刃を痛めないように切る

地面を切らない

土の付いた木はなるべくきれいにする



10



チェーンソーの目立て

自分のソーチェーンのタイプを知る

21BP、95VP、25AP、91VG ……

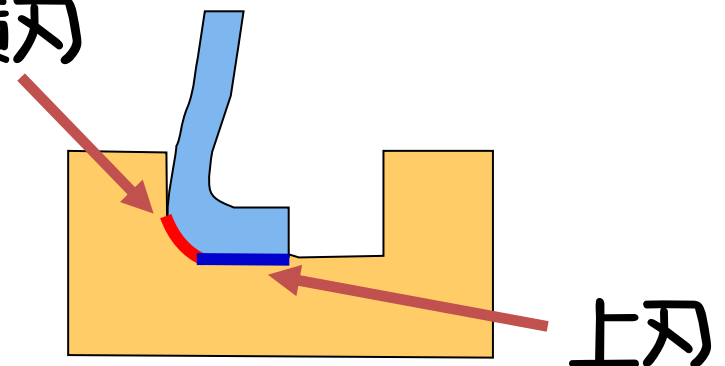
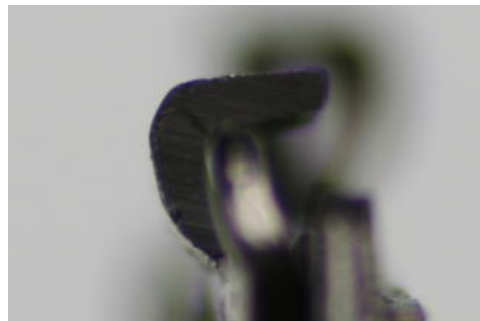
タイプによってヤスリのサイズ、研ぎ方が変わる

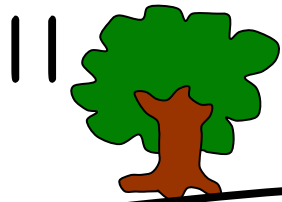
上刃と横刃を意識して研ぐ

燃料補給2～3回に1回、軽く目立て

刃研ぎ3～5回に1回、デプスを確認・調整

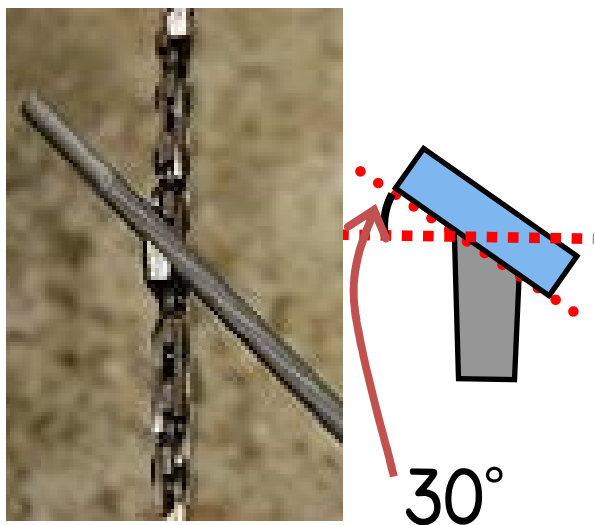
上からみた刃 正面からみた刃 横刃



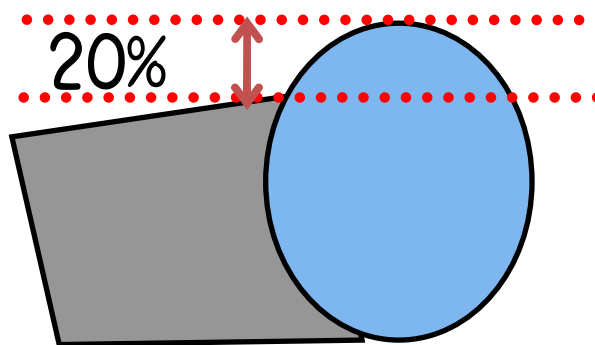


研ぎ方の基本

上刃目立て角を30度

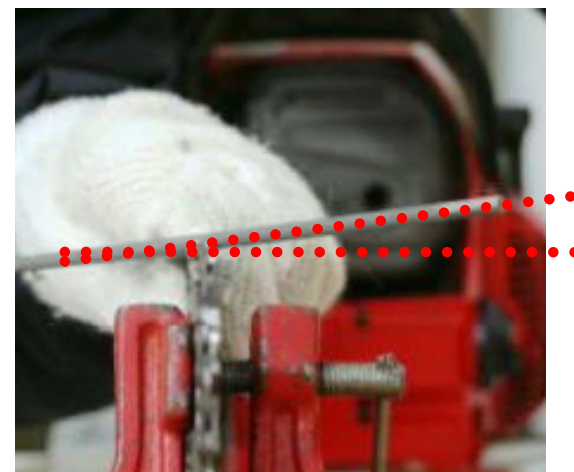


ヤスリの20%が上刃から出る



4mmのヤスリなら0.8mm

手元を10度下げる



※刃によっては水平

- この3つが出来れば、上刃・横刃の切削角が適切になる
- ヤスリがスムーズに動かせないようなら、手元を10度下げることは諦め、水平にヤスリを動かし、上刃をシャープに研げるようになることから始める

12



研ぐ際に気をつけること

- ①ヤスリを横から押し当て軽く3～5回擦る(力は下2横8)
- ②全ての刃の刃長、目立て角度を揃えるようにする
- ③右刃が擦りにくいため、右刃は左刃より1回多く擦る
- ④刃研ぎ3～5回に1回、デプスを確認・調整(0.65mm)

※デプスゲージは切削の厚みを出すもので、カンナの台の役目

